



過去の研修生

◆ アシュロン リオネル フランク さん (インド 2017年度研修生)

大阪府海外短期建築・芸術研修生招聘事業（安藤プログラム）を終えて

大阪から帰国し5か月以上が過ぎましたが、今でも鮮明に脳裏に焼き付いている安藤プログラムは、私の人生で最も重要な経験のひとつとなりました。



緊張と興奮を抱え来阪しましたが、安藤プログラムはまさに建築の巡礼の旅であり、日本の伝統建築と現代建築の両方を見学することができました。書籍で学ぶ建築と、実際に空間を訪れ体験することの違いをひしひしと感じました。

安藤先生を表敬訪問した際、私達研修生は、子供のように興奮を隠せませんでした。先生の世界観や、作品に取り組む際の意識の持ち方を聞くことができ、大いに刺激を受けました。先生は、政治、経済、芸術、歴史そして建築に関して、世界中どこでも、どのような状況にでも対応することができる幅広い知識を持つことが、建築家にとって重要であるとアドバイスをくださいました。

さらに、(株)竹中工務店で研修を受けたことは、有意義な経験でした。研修では、大規模なプロジェクトやチームの中での働き方やマネージメントについて経験し理解することができたと同時に、日本とインドの職場文化の違いについても学ぶことができました。



帰国後、同社での経験から、他国の職場環境を学びたいと考えるようになりました。現在はクウェートに移住し、小規模ですが若く多国籍なオフィスで、インスタレーション、パビリオン、住宅、タワーマンションや商業プロジェクトなど多岐に渡るプロジェクトに携っています。

安藤プログラムは、世界の人々、文化や建築をもっと見たいという私の探究心に火をつけてくれました。多くの素晴らしい人々に出会い、一生の思い出と友人をつくることができたことが一番の実りです。

